

国際協力機構東ティモール大学工学部支援プロジェクト短期派遣専門家

派遣先：東ティモール大学（東ティモール民主共和国）

派遣期間：平成 24 年 8 月 8 日（水）～8 月 22 日（水）

技術職員：2 名（教員 1 名）

活動内容：

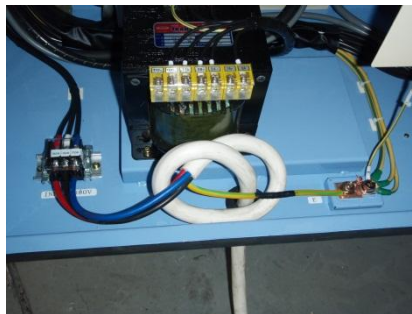
1. 横フライス盤の据え付け、精度検査、教官への実習による技術指導

2. ロックウェル硬さ試験機の据え付け、精度検査、教官への実習による技術指導

3. 研削盤、旋盤、切断機、アムスラー型圧縮試験機のメンテナンス



横フライス盤の据え付けの様子
現地の業者に移動を依頼した



電源ケーブルの繋ぎこみ
ケーブル等は現地で調達した



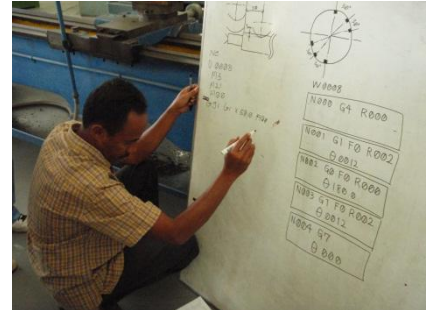
各部品・機器を取り付け、横フライス盤の据え付け完了



NC プログラムについての講義



NC プログラムの入力方法の指導



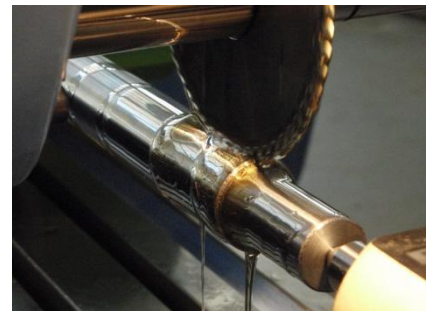
実習中の様子 現地教官が図面を見て、自ら NC プログラムを作成する



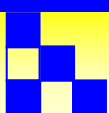
作成した NC プログラムを横フライス盤に入力する



工具（メタルソー）を横フライス盤の主軸に取り付ける



NC プログラムを用いて、鋼の丸棒に加工を行う





ロックウェル硬度計設置時の様子
測定子やステージの取り付け方の
説明を行った



ロックウェル硬度計の操作説明
後、実習を行った



現地教官が実際に材料の硬度を
計測する



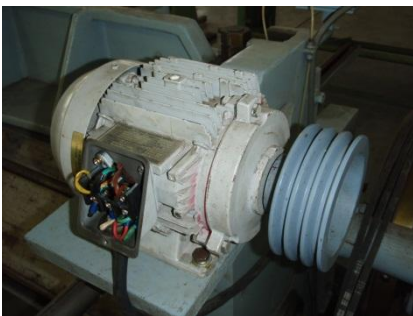
故障している平面研削盤 自動
でテーブルを左右に振る際に左
側に戻らない



平面研削盤テーブルの近接スイッ
チ左側が作動しておらず配線が切
断されていたため繋ぎこみ、修復し
た



故障しているアムスラー型圧縮試験機
圧力が100kNまで上がらなかったが、
下部の油圧バルブを調整し、修復した



故障している切断機のモーター
作動すると煙が上がるため交換す
る必要があったが、現地では入手
できないため帰国後に対応



故障している旋盤の主軸部分
衝突による衝撃で、主軸の部品や
チャック自身が壊れているため、
帰国後に対応



全日程を終了し、現地スタッフと
記念撮影

東ティモール大学工学部ヘラキャンパスの機械工場にて、約2週間作業を行った。機械の据え付けからメンテナンス、NCプログラム指導、実習トレーニング、各種機械の修理と、内容の濃いスケジュールだった。現地での部品調達などの経験もできた。今回、据え付けや修理を行った機械が、安全に有効に活用されることを願っています。

